

目標達成計画

作成日: 平成 28年1月 13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	ご利用者やご家族から、重度化した場合も今のグループホームで暮らし、終末を迎えたいという希望がある。職員により能力の個人差がある中、夜勤者が1名で他利用者の支援を行いながら、対応をしていけるかということに課題がある。その場合、ご家族の協力支援が必須である。	ご利用者の状況が重度化した場合も、できる限り、グループホームでの生活が続けられるよう支援する。	①OJT・OFF-JTを計画的に実施し職員の資質向上を行う。 ②ご家族や職員間で重度化した場合の要望や協体制・対応について話し合いを日常的に行い、支援体制を作る。 ③かかりつけ医との連携を強化する。	12ヶ月
2	36 37 38	ご利用者お一人おひとりの思いや要望を伺い尊重した支援ができるよう努めているが、自己表現をすることが難しい方については、思いを十分にくみ取れていないこともある。	ご利用者が日常生活において、都度、自分で考え、自己決定される機会が多くなるよう支援する。	①職員間で事業所理念について話し合う機会を持つ。 ②ご利用者の日常の要望や思いを聴く機会を作る。 ③自己表現が難しいご利用者には、表情や行動から思いを想定し、丁寧に関わる。 ④日常生活において、個々のご利用者のペースを尊重し自己決定の機会を作る。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。